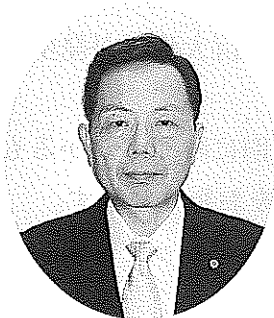


『貴協会の協力が不可欠』



埼玉県都市整備部設備課
課長 西山 慎 治

一般社団法人埼玉県設備設計事務所協会会員の皆様におかれましては、日ごろ、県政の推進に多大なご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、より良い設備設計のために多くの技術の研さんに日々努められていることに、あらためて敬意を表します。

さて、昨年3月に発生しました東日本大震災は、県域を越えて広範囲に未曾有の被害をもたらしました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

この震災により、安心・安全のまちづくりの必要性、重要性を痛感するとともに、震災対策を強力に進めていく決意を新たにしましたところでは、言うまでもなく、今後、事業を実施するにあたっては、さらに「安心・安全」の理念を尊重して参ります。

また、福島第一原子力発電所の事故によって、エネルギー政策の転換が求められ、地球温暖化問題にも対応するため、地球にやさしい再生可能エネルギーの利用拡大が求められています。

設備課では、この利用拡大の啓発を目的として、日照時間が長く快晴日数全国一の地域性を活かした太陽光発電設備、太陽熱利用設備や地中熱利用設備などを率先導入して参ります。

さらに、原発事故による電力供給不足、地球温暖化問題およびランニングコストを抑えた施設づくりなどに対応するため、LED照明器具や高効率空調機等の省エネルギー機器を積極的に導入することにより、県有施設の省エネルギー化を推進して参ります。

しかし、これらの施策を推進するためには、設備課の力だけでは不十分であり、貴協会のご協力が不可欠です。今後もより一層のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、一般社団法人埼玉県設備設計事務所協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。